

「小河内」便り 第10号

「O(オー)・プロジェクト」 平成23年2月

連絡先

〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小河内 安佐小河内集会所(代表 安福孝昭)

TEL&FAX 082-835-0831

ホームページURL <http://ogauchi.web.fc2.com/>

2月も終盤になり、春の足音が聞こえてきます。先日畑を鋤いていたら蛙が出てきました。夢心地の蛙を起こしてごめんなさい、でした。さて、2ヶ月振りの便りですが、皆様お元気ですか。春分の日も近づき、昼間の時間が長くなってずいぶん温かくなってきました。小河内もこれから野山に活気が戻り農作業が忙しくなります。皆様には気候の変わり目ですので、十二分に体調管理をされ、春の小河内にも是非お越し下さい。再会をととても楽しみにしています。

地域資源観察会からツーリズムへ

・・・・・小河内の魅力を更に深めていただくために

地域資源観察会は広島自然観察会員や安佐公民館職員の指導や説明を受けながら、都市住民と地元住民が交流、一緒になって小河内の自然、生き物、景観、歴史文化等を観察、発掘しそれを小河内の財産として活性化しようと、平成21年5月に第1回を開催。今年1月までに12回、延べ約520人の参加がありました。この2年間で小河内の全集落を歩き、お陰さまで小河内にも多くの宝があることに気付きました。地元で長年、住んでいる者でさえ初めて行ったところもあり、新たに発見したものもありました。都市住民からは、初めて小河内を知った、来た、と言う方もあり、小河内が好きになり12回皆勤もおられます。地元民では見慣れて何とも思っていなかったものが、都市住民の目から見れば、景色がきれい、棚田の雪や動く虫を見て感動した、こんなところに人が住んでいたのか、元気をもらった、こんな大きな木を見たのは初めてだ、畑のダイコンを直接抜いて大喜びする人等々、小河内の魅力を感じていただきました。次回3月26日の沢田・高野観察会で地域資源観察会行事は一応終わります。多くの皆さまにご参加、ご協力いただきありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

・高野観察会で地域資源観察会行事は一応終わります。多くの皆さまにご参加、ご協力いただきありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

ツーリズムについて

来年度からは、里ライフ想像のモデル地として、小河内の魅力を更に深めていただくよう、これまで発掘、発見した宝を目的別やコース別に整理し、ツーリズムメニューを作成、ご案内できるよう準備をしております。小河内の案内やお宝等を満載した小河内マップの作成と、牛頭山や滝山への登山口や青少年野外活動センターへの案内看板設置等の準備をしております。又「小河内 どんどん農園」を開設し、農産物加工講習会や直接畑で新鮮な野菜の抜き取り販売等、「農」を楽しんでいただく準備を進めています。4月からは新しく設立するNPO法人が窓口になり、小河内を“心の故郷”と感じていただけるようご案内や対応をさせていただきますので、引き続きよろしくお願い致します。

小河内応援団について

平成21年5月、第1回地域資源観察会から小河内のまちづくりを応援していただく小河内応援団を募集し、現在約60数名の方が登録されています。登録された応援団の皆さまには小河内便り等の情報を提供して交流を深めて参りました。ボランティアで寒い中、早朝から牛頭山の眺望を良くするための立ち木の伐採や、芝桜の手入補植・草抜き・施肥等の労力支援をいただき、高齢者の多い当地では大変助かりました。厚く御礼申し上げます。又、地域資源観察会で地元民の気がつかなかった多くの宝を教えていただきました。

これまで登録者の皆さまには郵送や電子メールでこの小河内便りをお送りしておりましたが、財政事情も厳しくNPO法人設立に伴い、別紙アンケートで今後のご意思を確認させていただきたく存じます。継続をご希望の方には、年会費をお願いしたく、誠に一方的なお願いで恐縮でございますが、何とぞご理解のほどお願い致します。

なお、NPO法人設立後は、充実した小河内便りで新鮮な情報をお届けすることで更に交流を深め、皆様のご意見を賜りながら、小河内を日本一の田舎にしたいと考えています。恐れいりますが、別紙アンケートにご協力をお願いします。

小河内情報

NPO法人を設立し、まちづくりを推進します

4月、NPO法人を設立（予定）します。広島県に書類を提出、認証待ちです。

名称は「小河内どんどん弥っ太郎会（やったろうかい）」（申請は「小河内Oプロジェクト」でしておりますので、後日変更が必要）愛称は「源快集楽Oプロジェクト」です。

「源快集楽」は、「広島市の源となる街、快い暮らしのできる街、人々が集まる街、楽しい街」の遊び心を表した合成文字です。小河内は地区全体が「限界集落」化していますが、人が集まって落ちるところでは暗いイメージがしますので、逆転の発想で「源快集楽」とし、楽しいイメージを狙いました。Oプロジェクトで実施しております下記諸事業を引き継ぎ運営します。

小河内住民の健康と安全安心事業・・・地場産を使用した有料配食（配食を兼ねた見守り）

小河内の自然や農地を守る事業・・・中山間地直接等支払い制度利用し、小河内の農地を小河内全体で守る仕組み（農業、農家支援）ハウス食品との体験農園、白島商店会との酒米づくり

雇用、所得創出を図る事業・・・使用済み割り箸炭リサイクル事業、モクズガニ養殖（実験中）農産物販売、小河内の市（六次産業化）LEDを使用したホテルかご

都市住民との交流・・・里ライフ創造モデル地、ツーリズム、小河内応援団

歴史、文化や伝統芸能の継承・・・養山八幡神社秋季大祭吹囃子行事、田舎芝居昭和劇団

小河内田楽囃子

ハウス食品との体験農園、白島商店会との酒米づくりが始まります

小河内集会所前の農地にハウス食品さんがCSR（企業の社会的責任）として体験農園開設、又白島商店会さんとは農村との交流事業で酒米づくりを今春から行います。

ハウス食品の農業体験希望者（小学生以上の親子）は3月、同社のホームページで募集が開始されます。6月4日（土）田植え、ジャガイモ、玉ねぎ収穫、交流会を計画
秋には収穫、稲刈り、サツマイモ掘り等の行事が予定されています。

キリンビール、三菱商事の企業の森、里山整備

広島市が所有する市民の森（黒瀬地区）を、キリンビール、三菱商事さんがCSR（企業の社会的責任）として広島市との協定（企業の里親制度）に基づき整備していただいています。3月12日（土）両社の社員や市森林課里山整備士、市森林課職員等約50名が、前回伐採した原木の玉切りや椎茸種駒の打ち込み作業をされます。黒瀬の荒れ果てた山が市民の皆さんが親しむ森に整備されます。

第6回地域資源観察会

今回の観察会は、小河内に最初に人が住みついたと言われている高野に行きます。

しかし、戦後の高度成長期、小河内で最初に消滅した集落が高野、そして途中の沢田。人が住み始めたのも、離れたのも最初、時代の皮肉を感じますね。

昔の街道と言われた小峠～沢田～高野～右平の道を歩き、途中の沢田集落跡や景観、祠、言い伝え、植物、高野集落跡等を見て歩きます。この道は昭和40年代に両集落とも消滅したため、その後殆ど人は通っていません。先般下見の時、道に猪のねぐらを発見しました。

日時；平成23年3月26日（土）10：00～15：00

雨天中止、少雨決行、不明の時は午前7時判断（下記へ問い合わせ下さい）

駐車場；小峠運動場へ（県道38号線小峠バス停より1分）

集合場所；小峠集会所

コース；小峠集会所～沢田～高野～右平「花園の里」

日程；10：00 受付、オリエンテーション、（トイレ、出発準備）

10：30 沢田集落跡 馬場跡を通過して高野道へ

11：15 高野集落跡、八幡神社跡等

12：00 「右平・花園の里」（佐々木宅）

昼食、休憩、日本画家故佐々木邦彦さんについて甥の佐々木英六さんから紹介、遺作品鑑賞

13：15 来たコースを引き返す

15：00 小峠集会所解散

尚、往復約3時間30分程度、坂の山道を歩きますので、自信のない方は直接時間までに「右平・花園の里」に行ってください。

参加費；無料

持参物；お弁当、飲み物、タオル等 雨具（小雨の場合）道が悪いため長靴をお勧め

バス便 広電安佐営業所 9：45発 小峠バス停着 9：58（小峠集会所まで徒歩3分）

（帰り便）広島センター行き 小峠バス停 16：07発

申し込み先；Oプロジェクト事務局 082-835-0831

又は安佐公民館 082-835-0111（何れも3月23日までに）

当日の問い合わせ先；中野 090-6847-3284、又は迫田 082-835-1167

消滅した高野集落 観察会でご覧下さい

ここに昭和30年代まで17世帯、100人暮らしていた、と言う。
国破れて山河あり これが経済至上主義を追求した影の姿か



2月18日撮影(迫田)

これ 何 んだ

答えは3月26日観察会で、沢田~高野道にあります。お楽しみに。



2月18日撮影(迫田)

編集後記

中山間地直接等支払い制度利用した農地保全事業や使用済み割り箸炭リサイクル事業、ハウス食品との体験農園、白島商店会との酒米づくり、ツーリズム等、お陰さまでOプロジェクトの計画が具体的に始まりました。小河内の「限界集落」を「源快集楽」に変えたいと思っています。夢や希望があり、生きがいがあり、住んで良かった、住んでみたい、行ってみたい、小河内になることを願っています。一回限りの人生、それぞれ素晴らしい里ライフを創造して下さい。来年度も引き続き「小河内」をどうかよろしくお願い致します。(S)